

## 06a エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方

### 1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室
・講師	麻生教育サービス(AES)講師: 青木克頼
・開催月日	2019年07月24日(水)・25日(木)・26日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

### 2. 対象者

ドキュメンテーション、プレゼンテーション技能を伸ばしたいとお考えのエンジニアの方  
前提知識: エンジニアとしての実務経験があること

### 3. カリキュラムの概要

エンジニアが挙げるセキュリティリスクや運用コスト上昇リスクについての知見は極めて重要ですが、その説明はエンジニア以外には分かりにくいことが多く、結果としてそのリスク対応の提案は、棄却される頻度が高くなります。後からこれらのリスクが顕在化し、その時になって「こういう意味だとわからなかった」「聞いていなかった」などの声がかかることとなります。

エンジニアは技術についての専門家であり、特にITエンジニアはその業務遂行のためにも、日々情報収集や自己学習を重ねています。

しかし、これらの知見を他者に伝える技術を兼ね備えたエンジニアは不足しています。エンジニアにこそ、文章能力が必要です。本講座では、エンジニアの考え、プロジェクトの進行状況、技術的な見解の表明など、エンジニアでないとの的確な分析ができないことを文章に表現する技能、及びその話し方について、実践的な演習と共に学びます。エンジニアが持つ高い技術力を、より一層活用できるようにするチャンスです。

### 4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1.「わかりやすく書く」ためのコツ	2.0hr	文章をわかりやすく書くためのテクニックを、6つのポイントで押さえます。
2.書く力を向上させよう	3.0hr	文章力を向上させるための方法論について学びます。
3.文書の役割	2.0hr	ワークフローの中での文書の役割について考えます。
4.ドキュメント構造化事例	2.0hr	IT関連ドキュメントの構造化事例を紹介します。まずはこの書き方を身につけましょう。
5.認知情報処理モデル	2.0hr	人間がどのように認知し、情報処理を行うのか、そのモデルについて学ぶことによって、より伝わりやすいドキュメントの書き方を考察します。
6.ドキュメンテーションの先にあるもの	3.0hr	ドキュメンテーションだけでは改善しないコミュニケーションについて、その技法を学ぶことで別の角度から学びます。

科目	時間	科目の内容
7.ドキュメンテーションの指導	3.0hr	自分だけではなく、同僚・部下に対して改善を促すことについて考察します。
【総合演習】	4.0hr	実践的な題材についてドキュメンテーションの実習を行い、事項伝達の訓練を行います。
計	21.0hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

## 5. 使用教材

- ①技術評論社：＜文章嫌いではすまされない！＞エンジニアのための伝わる書き方講座  
（注）市販本テキストは変更する場合があります。
- ②オリジナル教材

## 6. 到達目標

- ・持っている知見を、他者にわかりやすく伝える技能を身に付ける。
- ・何をすればわかりやすい文章が書けるようになるのか、その具体的な訓練方法を身に付ける。
- ・人間がどのように情報を認知し、理解するのかを学ぶことにより、わかりやすい文章を書くための指針を得る。
- ・分かりやすい文章の具体例を分析し、その中で用いられている手法を理解できる。
- ・他人に対して、分かりやすい文章を書くための具体的な指導方法が身につく。

## 7. 講座レベル

ITSSレベル：1～2